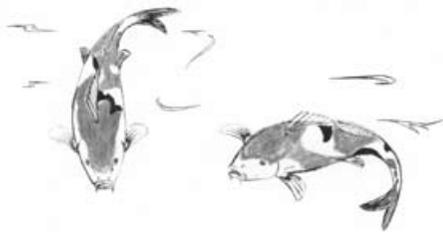

慈 恵



令和元年 No.67



夏

宗教法人 慈 恵 院

付属 多摩犬猫霊園

鑑賞



旭日披瑞雲萬
波香

昭和乙巳春日 天啓

横山天啓

書道の本源を求めて、八十余年の生涯を書と禅に捧げた横山天啓翁（雪堂、昭和四十一年八十四歳で死去）は、書における墨気と境涯を重んじ、筆禅道を提唱、実践した。世に媚びることなく清貧の中で道を求めた翁の姿は“書仙”の趣があった。



「禅画報」より

山岡鉄舟の参禅

星定は幼い時から阿弥陀経をよく読んだ。ある日、経を読んでいくうちに大きな疑問点にぶつかり、どうにも自分では解決できなくなった。そこで、ある僧にたずねてみたが、その僧にも答えることができなかった。星定は、ぜひともその疑団を解決しようと志をため、輝東庵の顧鑑和尚に師事して出家したのである。この星定和尚の徳風に深く心をよせた者に、山岡鉄舟がいた。

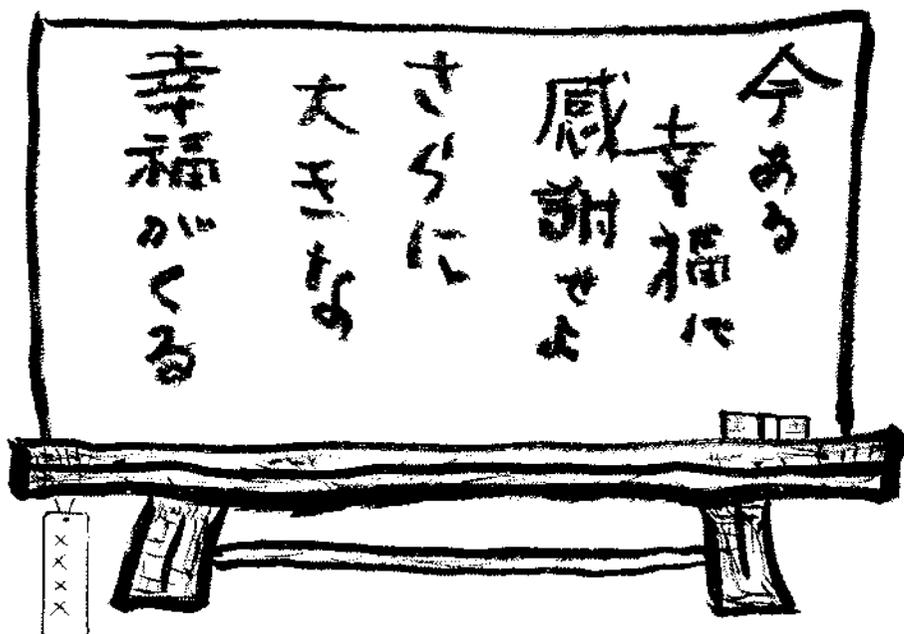
時間をつくっては東京から伊豆へ出向き、龍沢寺にいた星定の鉗鎚けんつゐをうけた。昼夜を徹して参究にはげみ、夜中になると必ず星定の部屋へきて、麦飯をくい、冷茶を飲んで帰っていったという。

「禅門逸話集成」より

星定元志せいじょうげんし (一八一六〜一八八一)

臨済宗。尾張の生まれ。十九歳で出家、輝東庵顧鑑に師事し、寂後は通応祖徹に師事して法を嗣ぐ。伊豆龍沢寺の三世。

掲示板





ちよつと

不思議な出来事

杉並区 服部 壽子(65)

慈恵院の金龍殿には43年前に他界した盲目のまま15年生きた愛犬シェリーをはじめ、インコ4羽、そして今回13回忌の愛猫アリシアと一緒に眠っている。

慈恵院のお墓参りを予定していた前日のこと、会合があり家から西永福まで20分歩き、井の頭線を使い目的地吉祥寺へ。会場に着くと片方のピアスがないことに気がつく。

コートなどについていないか調べるがない。探したくともどこに落としたのかももちろんわからないうし、夕方までは会合で身動きが取れない。会が終わり夕方、井の頭線遺失物センターへ行くが届いてはいないとのこと。

そのピアスは前日に買ったばかり、それも小さいけれどダイヤのたくさんついているちよつと高い方を買ったのに。しようがないなあ、と帰りも西永福より歩いて帰る。明日は雪になるかも、との予報。夕方、北風も吹き人気もない薄暗い道を歩きながら、【明日はアリシアたちに会いに慈恵院に行くからね。雪が降らないといいなあ、車で行き

たいし…。あー寒い」と考えながらふと視線を道に落とすときらつと光るものが。まさか。それは私の片方のピアス。うそでしょう、ここに落としであつたの！8時間余りたっているし、しかも落とし場所すらわからなかつたのに。

なんだかアリシアたちが探してくれたような気がした。「ママ、ここにあるよ」って。

次の日のお墓参りは雪は降らずに晴天。その日はもちろん昨日片方見つかつたピアスをつけて。もう、落とさないようしっかりキャッチで止めて注意するからね、アリシアたち。

作文募集

●ペットとの思い出、出来事など作文にしてお寄せ下さい。

(800字以内)

尚、作文には題名を必ずご記入下さい。

●応募作品は返却いたしません。

●住所・氏名・年齢・電話を明記し、慈恵院編集部宛お送り下さい。掲載は随時とさせていただきます。

この季節に想うこと

モコどうぶつ病院

院長 齊藤 朋子

です。

の飼い方が変わり、室内

春、いよいよ暖かく気

され、1代限りの命を生

持ちのいい季節になりま

きてもらいますが、目印

した。私の病院は飼い主

としてかたほうの耳の先

のいない猫の不妊去勢手

をブイ字にカットします。

術専門の動物病院です。

2月くらいから秋くら

人間の勝手に捨てられた

いまでは猫は発情期を迎

りした外で暮らす猫た

え、ボランティアさんが

ちの環境は過酷です。少

運んでくる雌猫はほとん

しでもそんな猫たちが減

どが妊娠をしています。

ることを願って、不妊去

どんな命も等しく尊いは

勢手術を最優先に行うた

ずなのに、本来であれば

め、一般の診療は受けて

心から喜んであげたい命

いません。手術を受けた

の誕生を、寸前で食い止

猫たちは元いた場所に戻

めなくてはいけない毎日

とところが手術が間に合

わず、病院に運ばれた入

れ物の中で出産をしてし

まう猫もいます。母猫が

懸命に授乳する姿は本当

に美しく、心から感動を

覚えます。そんなときは

しっかり子猫を育てても

らって、親子ともども新

しい飼い主を探す、なん

てこともしています。

病院を始めて10年。生

まれてくるはずだった子

猫たちは、病院葬で送る

ことにしています。どう

か今度は幸せな飼い猫と

して生まれてきてくれま

すように。

東京はずいぶんと犬猫

